

教育



- ・ 令和5年度入学式を挙
- ・ 岐阜大学が「東海情報通信懇談会会長表彰」を受賞
- ・ 「栄養ワンダー」を開催
- ・ 「世界最大のシミュレーションセンター(医学教育施設)所長の特別講演を開催
- ・ 地域科学部 牧 秀樹 教授が「小学生版 最小英語テスト (eMET) ドリル」を出版
- ・ 教職大学院学校管理職養成コース派遣教員と岐阜県教育委員会との懇談会を開催
- ・ 日本語指導が必要な子どもたちを対象としたカードゲーム教材「いみあわせかあど」を発売
- ・ フエ大学 (ベトナム) の学生と観光プランを作成し現地でプラン検証を実施
- ・ 令和5年度学位記授与式を挙



MAKE NEW STANDARDS.

東海国立
大学機構



岐阜大学

令和5年度入学式を挙行

【概要】

本学は、令和5年4月7日（金）に、長良川国際会議場にて令和5年度入学式を行い、学部学生1,324名、大学院学生642名が入学しました。なお、式典は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3回に分けて執り行い、その様子を在学生や保護者向けに本学公式YouTubeチャンネルからライブ配信しました。

吉田学長は、学部入学生に向けて「大学における勉学は、これまでの受け身的な学習ではなく、自分自身で考え行動し、一生懸命努力することを身につけてください」と述べ、また、大学院入学生へは「大学で何を学ぶか、何のために学ぶか、学んだものをどう社会で活かすのか、この問いを常に考えながら研究に励んでください。私共も皆さんと一緒に考えたいと思います」と告辞を述べました。

式典では、大学院入学生を代表して医学系研究科の植竹望さん、学部入学生を代表して教育学部の大脇杏菜さん、応用生物科学部の芦塚壱臣さんが宣誓を行い、「学業や研究に専念し、将来の日本の社会を担う力を育むため日々努力する」と抱負を語りました。



入学式の様子



宣誓する応用生物科学部 芦塚さん

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2023/4/8	岐阜	学業や研究 努力誓う 岐阜大・大学院が入学式 ～ 吉田和弘 学長, 教育学部 大脇杏菜さん ～
2023/4/8	中日	岐阜大生一同が新たなスタート ～ 吉田和弘 学長, 教育学部 大脇杏菜さん ～

岐阜大学が「東海情報通信懇談会会長表彰」を受賞

【概要】

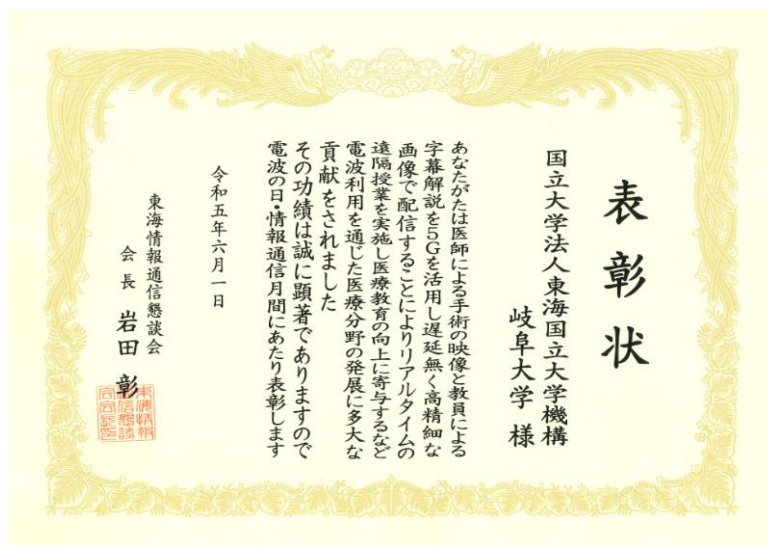
総務省東海総合通信局と東海情報通信懇談会が実施する令和5年度「電波の日・情報通信月間」記念式典が、6月1日（木）に名古屋市内のホテルで開催され、岐阜大学が「東海情報通信懇談会会長表彰」を受けました。

式典では、電波利用や情報通信の発展に貢献した個人・団体に対する表彰が行われました。このたび本学が受けた表彰は、岐阜大学医学部附属病院腫瘍外科と岐阜大学医学教育開発研究センター（MEDC）との共同研究である、医師による手術映像と同時に教員が字幕解説する授業について、5Gを活用することで、リアルタイムで遅延なく高精細な遠隔授業の実施を可能にしたことが、医療者教育の向上に寄与するなど電波利用を通じた医療分野の発展に多大な貢献をした、と評価されたものです。当日はMEDCの西城卓也センター長が式典へ出席し表彰状を受け取りました。

本学は今後も、電波利用や情報通信技術を駆使するなどして尖端的な教育・研究開発に取り組み、その成果をさまざまな形で社会へ還元できるようにしていきます。



MEDC西城センター長



表彰状

「栄養ワンダー」を開催

【概要】

令和5年7月7日（金）、12日（水）に、保健管理センターと生協第一食堂の共催で、栄養ワンダーを開催しました。栄養ワンダーとは日本栄養士会が企画する「栄養の日、栄養週間」に合わせて実施されるイベントで、今年度は「間食」をテーマに、現代に即した栄養のあり方を教育、提案するものです。

7日（金）は、協賛社から提供されたキウイフルーツと牛乳、日本栄養士会が制作・発行した指導媒体を無料配布しました。開始前から長蛇の列となり、先着200名を対象にした配布会は約25分で終了となりました。

12日は（水）は、保健管理センターの管理栄養士による間食に関する講話、キウイフルーツと牛乳を使った間食（デザート）の試食会、生協第一食堂によるCOOP夏フェスタ（岐阜大生が岐阜大で作ったお米と野菜を使った生協メニューの紹介）の案内、保健管理センターの保健師による熱中症予防に関する講話、参加者間の交流を行いました。事前申し込みと当日参加合わせて26名の学生が参加しました。

栄養ワンダーを通じて、学生の食に関する関心と理解が深まり、毎日の食生活に生かされることを期待します。保健管理センターでは今後も「食」を通じた健康教育を行い、心身の健康管理に努め、学生一人ひとりが健康でより良い生活を送れるようサポートしていきます。



配布の様子（7日）



講話の様子（12日）

「世界最大のシミュレーションセンター(医学教育施設) 所長の特別講演を開催

【概要】

医学教育開発研究センターと保健管理センターは、特別講演“The Future of Healthcare Education and Experimental Learning”（医学教育と臨床研修の未来）を令和5年6月21日（水）に医学部記念会館において開催しました。

講演者のDr. Haru Okuda(奥田康晴先生)は幼少期から米国で教育を受け、メディカルスクール卒業後は救命救急医学の道に進まれました。その後、医療専門職の資質向上やチーム医療の重要性を認識され、シミュレーション医学教育の分野で活躍し、ヘルスケアシミュレーション学会(Society for Simulation in Healthcare)の前会長も務められました。今やこの分野の権威です。

今回は、本学の協定大学である南フロリダ大学の医学教育シミュレーションセンター所長として来日されました。同センターは、医療に関わるすべての職種を対象に技術研修・チーム医療の醸成を担う医学教育施設で、世界最大のシミュレーション病院です。当日は世界最先端の医療専門職トレーニングセンターの現場についてお話しいただき、対面およびオンラインで多くの医学部学生・教職員、および医学部附属病院教職員が聴講しました。

また、日本の医学教育をリードする本学医学教育開発センターや、地域医療人の育成に尽力する地域医療医学センター、シミュレーション教育に力を入れている消化器外科学、救急・災害医学の教職員とも交流を行いました。今後の益々の交流発展が期待されます。



世界最大の南フロリダ大学
シミュレーションセンター



医学部附属病院高次救命治療センター訪問
(松田操縦士と川崎医師とともに)
協力：セントラルヘリコプターサービス株式会社

地域科学部 牧 秀樹 教授が 「小学生版 最小英語テスト (eMET) ドリル」を出版

【概要】

最小英語テスト「MET」は A4 用紙 1 枚に約 70 単語の空所を設けた、3 分程度の単語穴埋め式リスニングテストです。「日本人学生の英語能力を 5 分で測るテスト」の開発を目標に研究を始めました。このテストはセンター試験や TOEIC などの英語テストの成績と相関があることがわかっています。

この本は小学生版として、小学 5・6 年生で学ぶ文法項目をすべて網羅するよう構成しています。すでに英語の勉強を始めているお子さんには、力試しとして、また、中学生や英語からしばらく遠ざかっている方には、小学校英語のおさらいとしても使えます。テストを 24 題収録。音声は HP よりダウンロードできます。

※ 書籍について



小学生版 最小英語テスト (eMET) ドリル
【著者／編集】牧 秀樹 (地域科学部・教授)、西田 雛

出 版 社 : 開拓社
発行年月日 : 2023年9月19日
定 価 : 1,210円 (税込)
ISBNコード : 9784758923378

教職大学院学校管理職養成コース派遣教員と 岐阜県教育委員会との懇談会を 開催

【概要】

令和5年10月20日（金）に、岐阜県教育委員会から岐阜大学教職大学院学校管理職養成コースに派遣されている現職教員の2年院生13名が、本学が主催する教育委員会との懇談会において開発実践報告の中間発表を行いました。

開発実践とは、教職大学院の学修の中核であり、学校や地域から委託された教育課題を解決するための実践を開発するものです。懇談会では、院生それぞれが取り組み状況を報告し、岐阜県教育委員会の中村高校教育課長、青木義務教育課長、高橋教員人事管理監、浅井教育主管から講評をいただき、今日の学校教育課題に取り組んでいることなどが評価されました。また、管理職として教育を充実させるためには、教職員とのコミュニケーション、校長としてのパッションに加えデータに基づく説明、外部評価の活用が重要であること、そして開発実践の成果を明確にし、その成果を学校現場に還元することなど、一人一人に対して温かいコメントやアドバイスがありました。

本懇談会は、教職大学院の学修が管理職としての力量を向上させるとともに、委託された課題の解決を通じて学校や地域に資するための貴重な機会となりました。



発表の様子



講評の様子

日本語指導が必要な子どもたちを対象とした カードゲーム教材「いみあわせかあど」を発売

【概要】

本学教育学部学校教育講座の今井亜湖教授が監修し、日本語指導が必要な子どもたちを対象としたカードゲーム教材「いみあわせかあど」を発売しました。「いみあわせかあど」は、日常会話は可能でも授業参加が困難な子どもたちのための教材です。今井教授の研究室が児童生徒の教育支援の一環として開発しました。

昨年12月から今年1月にかけて実施したクラウドファンディングで、教材制作費と配布費用のための寄附を募り、目標を超える支援を受けました。その際の応援メッセージに共感した株式会社文溪堂の水谷代表取締役社長の協力により、教材の販売が実現しました。

本学は、教育・研究活動で得られた知見を社会へ還元し、より良い教育環境の実現に向けて、引き続き教育支援に注力します。

※ 開発者の今井教授からメッセージ：

日本語指導を必要としている児童生徒への新しい教育の形を提案する教材として「いみあわせかあど」を開発しました。ご家庭や学校等で多くの方々に活用されることを願っています。

カードゲーム教材

外国にルーツを持つ児童が遊びながら学べる

いみあわせかあど
IMIAWASE CARD

【セット内容】
カード60枚
(絵詞30語×2枚)
1,100円（税込）

The advertisement features a red background with white and yellow text. It includes an illustration of a classroom scene with children and a teacher. The product name 'いみあわせかあど' is prominently displayed in large white characters, with 'IMIAWASE CARD' written below it. To the right, there is an image of the red product box and a stack of cards. A small text box in the bottom right corner lists the set contents and price.

フエ大学（ベトナム）の学生と観光プランを作成し 現地でプラン検証を実施

【概要】

グローバル推進機構及び社会システム経営学環、地域協学センターが担当する全学共通教育科目「グローバルリーダー実践」及び社会システム経営学環専門科目「観光デザイン実習」において、フエ大学（ベトナム）観光学部の学生らと共にフエ滞在型の観光プラン案の作成を行い、現地でプランの検証を行いました。また今回の研修は、岐阜大学次世代地域リーダー育成プログラム・グローバルリーダーコースの活動の一環として実施しました。

岐阜県とベトナムトゥアティエン＝フエ省は、2016年11月に友好提携を締結して以降、様々な分野で交流を行っています。これに伴い、フエ大学と岐阜大学は、2018年に学術交流協定を締結しており、本科目の取組はこの協定に基づくものです。

本科目において、受講生はフエ大学観光学部の学生と数カ月間に渡りオンラインで交流し、協力して日本の若者に向けたフエ滞在型の3日間の観光プラン案を作成しました。本科目の締めくくりとして、令和6年3月5日（火）～3月14日（木）の10日間、受講生10名がフエ市に滞在し、作成したプランにそって観光し、プランの検証を行いました。また、滞在中にフエ省人民委員会・観光局を訪問し、フエ省の観光資源や現在の観光客の動向等を詳しく紹介いただきました。最終日にはブラッシュアップした観光プランを提案しました。提案時には岐阜県庁国際交流課の方々にもオンラインで参加いただき、講評をいただきました。

本学は地域の国際的な多様性に伴う諸課題を解決できる人材を育成すると共に、この取組が本学およびフエ大学の学生交流の更なる促進と、岐阜県・フエ省の一層の交流活性化に発展していくことを期待しています。



フエ大学観光学部学生との史跡等の観光資源の
実地調査の様子



フエ大学外国語大学日本語日本文化学部学生との
交流の様子

令和5年度学位記授与式を挙行

【概要】

本学は、令和6年3月25日（土）、長良川国際会議場にて令和5年度学位記授与式を執り行いました。式典は、コロナ禍以降初めて卒業生・修了生が一堂に会する形式で開催しました。

式典では、学部学生1,279人、大学院学生564人の卒業生・修了生に向けて、吉田和弘学長が「みなさんは岐阜大学での学びの中で、それぞれの課題に向き合い、恩師や仲間との議論を通じて、課題解決やSociety5.0の実現に取り組んできました。さらに、コロナ禍という苦境を乗り越え、レジリエンスを身につけた経験を生かし、これまで皆さんが蓄えたエネルギーを大いに活用し、前途洋々たる未来に向かって元気に活躍されることを願っています」と告辞を述べました。

また、卒業生代表の謝辞では、医学部医学科の神部宏幸さんが「先生方のご指導や地域の方々の温かな支えによって、恵まれた環境の中で学業に専念することができました。岐阜大学で得た知識や貴重な経験、授かった多くの人々との素晴らしい出会いを活かし、社会に大きく貢献できるよう今後とも精進してまいります」と力強く語りました。

さらに、在学期間中において、極めて優秀な学業成績を挙げ、高い評価を受けた学生18人が吉田学長から表彰されました。



学位記授与式の様子



謝辞を述べる医学部医学科 神部さん

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2024/3/26	岐阜	「社会に貢献」決意 岐阜大卒業式 ～ 医学部代表 神部宏幸さん ～
2024/3/26	中日	学部と大学院生1843人 苦境乗り越え巣立つ 岐阜大が学位授与 ～ 吉田和弘 学長、医学部代表 神部宏幸さん、大学院生代表 浅野珠里さん ～